東郷村報

第41号

昭和30年5月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高新町
株式會社 安藤印刷所
電話64番

就任の挨拶

東郷村長　黑木松美

今回の村長選挙に私は不敏をも顧みず立候補いたしまして皆様方の御支援によりかろうじて当選いたしまして去る五月四日村長に就任いたしました。茲に村民各位に対し深甚の謝意と敬意を表し併せてこの後絶大なる御協力と御指導をお願い申します。　この機会に私の村政に対する考え方を一応申し上げて御挨拶にかえたいと思います。

（私は第一に）　今後の村政の方針として明朗な力強い村政を確立したいと思うのであります。即ち一部の者の陰謀や術策や感情等によつて支配される様な村政を排除してお互がよく語り合い、よく話あつてほんとうに民主的にお互村民の納得の行く村民のための明るい而も力強い村政を確立することに努力したいと思うのであります。

（第二）　に民意の反映し社会の推移に即応した村政を行いたいと思います。村政の計画が如何に立派に立案計画されていてもそれが村民の意に反したり又社会の推移に立ちおくれておればこれは決して正しい村政とは言へないと思うのであります。私は我を捨て村民第一主義で村議会の意志を又村民の意志を大いに尊重すると共に各種機関と緊密な連絡協調を図つて国際状勢と社会の推移に即応した村政を行い諸種の重要問題の解決を図り村民の福利を増進し民生の安定に努力する覚悟であります。次に本年度に於ける重点的な施策でありますが私は

（第一）　に早急なる災害復旧と之が対策の確立を期したいと思うのであります。御承知のように昭和二十五年度以来数度に亘る台風の襲来は農林産物を始め各種施設及耕地又は護岸等に甚大な被害を与え、特に昨二十九年度の台風被害は未曽有のものでありまして一応夫々の計画が樹立されていますが国及県の予算財源等の関係もあつて、私共村民の納得の行く復旧のなされていない現状であります。特に準用河川である耳川の護岸の復旧状況は災害個所十ケ所以上であり之が復旧如何は関係地元民の人命又は生産の上に重大な影響を来すことは火を見るより明らかな事実であるにも拘らず現在まで一ケ所の着工さえなされないという悲惨な状態であります。又時期的に見ましても洪水期を目睫の間に控えていますので本件の早急なる復旧につい努力致す所存であります。尚台風の災害は人為的にどうにもならないものは別として人為的に対策の講ぜられるものについては夫々研究調査を加え対策を確立したいと思います。

（第二）　に農林産業の振興を期したいと思うのであります。最近に於ける農林産業進展の状況は之を終戦時の状況と比ぶれば大変な進歩を見ているのでありますが戦前の状況と比較するとその状況は決して喜ばしい状況ではないと思うのであります。農林産業は本村の重要産業であるにも拘らずその生産高に於て又生産の販売過程に於てその状態は少しもかわらない足ぶみ状態と言つても過言でないと思います。この状態に本村経済力の貧困な原因がありこの状態を何とか変へて行かない限り本村の発展は期し得られないと思われるのであります。私はこの問題解決のために現在本村に設置してある経済振興対策委員会の活動を活潑ならしむる他対策要綱についても検討を加え又各種関係機関とよく連絡協調して本村の実情に応じた基本対策を確立する方針であります。

（第三）　に国保と直営診療所の円滑な運営を期したいと思います。本村の国保制度は御承知の様に二十八年四月一日より実施され直営診療所は二十九年六月より開所いたしたのでありましてその後ほゞ順調な歩みを続けて来たとはいいますものの本制度の運営が真に村民の理解の下に完全な運営の出来得る状態になるまでにはなお一層の努力を必要とすると思うのであります。直営診療所の運営は国保と総合一体となすもので国保の合理的運営は医療機関と連絡協調して可能であり両々相俟つてその妙味を発揮するものと考えられますのでこの点に特段の意を用いて国保と直診の円滑な運営をなし村民の保健と衛生の完璧を期する覚悟であります。

（第四）　に建全財政の確立を期したいと思います。御承知のように村政は確固たる村財政の裏付があつてこそ始めて円滑迅速に運営出来るものでありますが本村の財政状況を眺めてみますと最近毎年一千余万円の村有財産即ち村有林を処分して辛じて赤字財政をのがれている状態でありますが之を深く考察してみますとき売喰い財政とも言い得るのではないかと思います。勿論必要已む得ない経費に充当していますので已む得ない措置でありますがこれをこのまゝの状態で続けますと後五、六年すると財政的に行き詰ることが予想されますので私は限られた財源を計画的に活用する他健全な財政確立のため、村役場の機構を始め村ますが私は之等の問題については各関係機関と更に一層連絡を密にしてこれが強化を図り村民の生活安定と村民の福利を増進する覚悟であります。

（以上）　極めて簡単に私の考えを申しましたが私は今後村民第一主義の方針を以て村政の円滑な運営を図りたいと念願いたしていますが御承知のように私は菲才でありまして村民各位の絶大な御協力がなくてはこの私の念願達成は出来ないのでありますので尚一層村政進展のため村民各位の強力な御指導と御協力を願う次第であります。

就任の挨拶

東郷村議会議長　新名岩喜

私は四月三十日選挙に於いて議席を与えられこの上もなく光栄に存じていましたところ、五月九日召集の定例議会に当り、議長の重責をけがすことになり今更ながら驚くと共に責任の重大さに心痛を致して居ります。浅学菲才もさる事ながら御承知の如く国家再建の途今尚遠く、国民の信、政治を離れ、浮雲にも似た世相は地方自治の上に重圧となり、町村財政の窮迫は住民生活を根底より揺り動かす、極めて危険なる状態に立ち到らしめつゝあることは、本村に於きましても、例にもれない次第でございまして、村民生活の窮乏日に深刻となり民心月に頽廃せんとするきざしがほの見える等政治の貧困を物語る証左ではないでしようか。私共はよりよき生活、よりよき村を望みます。村政の目的は是につきましよう。過去の村政はさて置き今日以後の村政は派手な大向をうならせる村政は以上の事態に於て望むべきではない、他日の飛躍に供え、伸ばんがために屈する内治の村政たることを私は要望したいと思います。幸にして新進気鋭の同僚を迎え併せて豊富なる体験と卓越する手腕を有せらるゝ新村長を有しまして此の難局を打開致しますことは容易かと存じますが村民各位の協力に期待する処又極めて大なるものもありと信ずる次第で御承知の如く国家再建の途今尚遠く、国民の信、政治を離れ、浮雲にも似た世相は地方自治の上に重圧となり、町村財政の窮迫は住民生活を根底より揺り動かす、極めて危険なる状態に立ち到らしめつゝあることは、本村に於きましても、例にもれない次第でございまして、村民生活の窮乏日に深刻となり民心月に頽廃せんとするきざしがほの見える等政治の貧困を物語る証左ではないでしようか。私共はよりよき生活、よりよき村を望みます。村政の目的は是につきましよう。過去の村政はさて置き今日以後の村政は派手な大向をうならせる村政は以上の事態に於て望むべきではない、他日の飛躍に供え、伸ばんがために屈する内治の村政たることを私は要望したいと思います。幸にして新進気鋭の同僚を迎え併せて豊富なる体験と卓越する手腕を有せらるゝ新村長を有しまして此の難局を打開致しますことは容易かと存じますが村民各位の協力に期待する処又極めて大なるものもありと信ずる次第で

麥の秋

麦の穂の風にゆれたつ音きこゆ雀つばくら啼きしきる
なかに
うちわたすこの麦の畑ゆたかなるさまをし見れば夏闌
けにけり
熟麦のうれとほりたる色深し葉さへ莖さへうち染まり
つゝ
刈麦を積み溢らせて荷車のひとつ行くなりこの野のみ
ちを

牧水

就任の挨拶

東郷農協専務理事　高森文夫

去る四月一日の役員会に於ける互選の結果、不肖私が農協と共済組合の専務理事に選出されました。私如き素人の未熟者に果してこの至難な大役が勤まるだろうかと思うと、仲々決心もつき兼ねたのでありますが、どうしても誰かゞやらねばならぬ仕事であり、然も一日の空白も許されぬ重大な時期にありましたので、四月四日に正式に受諾致しました。私にとりましては、逃げ腰にならざるを得なかつたような困難過ぎる役目でありますが、みんなが逃げ腰になつていては、みんなが敗北をする以外に道は無いのだと思はれましたので、捨て身になつて飛び込むやうな気持で受諾したような次第であります。

生来、臆病者の私にこの決心をさせたものは、次の二首の和歌でありました。一つは明治天皇の御製

「為せば為る、為さねばならぬ何事も
　為らぬは人の、為さぬなりけり」

もう一つは宮本武蔵の

「切りむすぶ大刀の下こそ地獄なれ
　身を捨てゝこそ、浮ぶ瀬もあれ」

思へば誠に危険千万なことで、数字から数字、ソロバンからソロバンの経済生活が精神主義位のことで解決される筈はありません。それにも拘らず私如き畑違ひの人間に、危機に立つ農協の番頭役を委任せねばならぬとは、よくよく東郷村という村も不幸な村だと言はざるを得ません。これが就任に当つて私の卒直な感想であります。然し私と致しましてはこの際一切の敗北主義的、日和見的、逃げ腰を真直ぐに立て直して、緊褌一番、農協再建のため小学校一年生のように勉強もしますが私は之等の問題について各関係機関と更に一層連絡を密にしてこれが強化を図り村民の生活安定と村民の福利を増進する覚悟であります。

（以上）　極めて簡単に私の考えを申しましたが私は今後村民第一主義の方針を以て村政の円滑な運営を図りたいと念願いたしていますが御承知のように私は菲才でありまして村民各位の絶大な御協力がなくてはこの私の念願達成は出来ないのでありますので尚一層村政進展のため村民各位の強力な御指導と御協力を願う次第であります。

就任の挨拶

東郷農協専務理事　高森文夫

去る四月一日の役員会に於ける互選の結果、不肖私が農協と共済組合の専務理事に選出されました。私如き素人の未熟者に果してこの至難な大役が勤まるだろうかと思うと、仲々決心もつき兼ねたのでありますが、どうしても誰かゞやらねばならぬ仕事であり、然も一日の空白も許されぬ重大な時期にありましたので、四月四日に正式に受諾致しました。私にとりましては、逃げ腰にならざるを得なかつたような困難過ぎる役目でありますが、みんなが逃げ腰になつていては、みんなが敗北をする以外に道は無いのだと思はれましたので、捨て身になつて飛び込むやうな気持で受諾したような次第であります。

生来、臆病者の私にこの決心をさせたものは、次の二首の和歌でありました。一つは明治天皇の御製

「為せば為る、為さねばならぬ何事も
　為らぬは人の、為さぬなりけり」

もう一つは宮本武蔵の

「切りむすぶ大刀の下こそ地獄なれ
　身を捨てゝこそ、浮ぶ瀬もあれ」

思へば誠に危険千万なことで、数字から数字、ソロバンからソロバンの経済生活が精神主義位のことで解決される筈はありません。それにも拘らず私如き畑違ひの人間に、危機に立つ農協の番頭役を委任せねばならぬとは、よくよく東郷村という村も不幸な村だと言はざるを得ません。これが就任に当つて私の卒直な感想であります。然し私と致しましてはこの際一切の敗北主義的、日和見的、逃げ腰を真直ぐに立て直して、緊褌一番、農協再建のため小学校一年生のように勉強もし、闘つてもゆく覚悟であります。

（その他）　教育問題、農協、森組、の再建問題或は耳川ダム問題等重要な仕事は山積していますが私は之等の問題について再検討を加え改むべきは改め廃すべきは廃し特に遊休施設或は既存施設を最高度に活用してあらゆる冗費を節約して必要已む得ない緊急重要な施策については重点的にしかも均衡性を図つて財政の円滑な運営と建全な財政を確立したいと思います。

御承知の如く国家再建の途今尚遠く、国民の信、政治を離れ、浮雲にも似た世相は地方自治の上に重圧となり、町村財政の窮迫は住民生活を根底より揺り動かす、極めて危険なる状態に立ち到らしめつゝあることは、本村に於きましても、例にもれない次第でございまして、村民生活の窮乏日に深刻となり民心月に頽廃せんとするきざしがほの見える等政治の貧困を物語る証左ではないでしようか。私共はよりよき生活、よりよき村を望みます。村政の目的は是につきましよう。過去の村政はさて置き今日以後の村政は派手な大向をうならせる村政は以上の事態に於て望むべきではない、他日の飛躍に供え、伸ばんがために屈する内治の村政たることを私は要望したいと思います。幸にして新進気鋭の同僚を迎え併せて豊富なる体験と卓越する手腕を有せらるゝ新村長を有しまして此の難局を打開致しますことは容易かと存じますが村民各位の協力に期待する処又極めて大なるものもありと信ずる次第でございます。

老骨物の用に立ち得べしとは思えませんが、与えられました責務に向い努力を傾注以つて本村民たる誠を致したいと存じます。何卒皆様一万弐千の村民相携え細り行く良識の燈をかき立てこの道は遠くあの山はけわしくとも越え去り行かねば里の火は見えないのであり区々たる世論や私情の暗にあたら心を奪れ自他共にきずつくことの愚を転じて和衷協同の幸と化し理想郷土の建設に一路邁進を誓いたい以上禿筆を顧ず一筆を啓上以て就任の御挨拶と致します。

議會報告

五月九日午前十時議会が召集され左記のとおりそれぞれ選出、選任された。

議長　新名岩喜
副議長　三浦治郎吉

◎議会運営
委員長　新名健
副　海野竹雄
委員　稲田富吉
〃　甲斐実
〃　三浦治郎吉

◎総務部
委員長　海野竹雄
副　石田数夫
委員　寺原岩吉
〃　黒木熊吉
〃　中谷芳雄

◎教育、厚生部
委員長　稲田富吉
副　稲田剛
委員　三尾種子
〃　田辺清吉
〃　三浦治郎吉

◎経済部
委員長　新名健
副　黒木武平
委員　海野竹雄
〃　三原浅治
〃　岩野春治

◎山林部
委員長　甲斐実
副　佐藤文作
委員　黒木初美
〃　松原千三郎
〃　三浦旭

◎監査
議会議員の中から選任
寺原岩吉
学識経験者の中から選任
寺原島吉

議会議員の中から選出の◎教育
田辺清吉
猶収入役の任期が五月九日で満了であつたが当日中野義男氏が再任となつた。

選挙の結果について

東郷村選挙管理委員会

村長と村会議員の選挙が四月三十日に執行され雨天であつたので相当の棄権が予想されたが予想に反して次表のような好成績を納め同日午後九時から村会議事堂でこの開票が開始され五月一日午前四時に終了した。当日の各投票所別投票の状況は次のとおりである。

村長、村会議員選挙

投票区（部落）	有権者	投票者	棄権	投票率	順位
第一（小野田）	五九三	五七九	一四	九七、六四	四
第二（寺迫）	五六九	五三三	四七	九一、七四	一
第三（福瀬）	八二八	八〇〇	二八	九六、六三	一
第四（鶴野内）	五六一	五三三	二八	九五、〇一	六
第五（迫野内）	四四七	四三九	八	九八、二二	八
第六（田野）	二四八	二四六	二	九九、二〇	三
第七（羽坂）	三六八	三五六	一二	九六、七四	一
第八（仲深）	四六四	四四五	一九	九五、九一	五
第九（坪谷瀬平）	八七三	八〇七	六六	九二、四四	七
第十（越表）	三四四	三三三	二一	九三、九〇	一
第十一（下渡川）	二四八	一九二	五六	七七、四三	九
第十二（八重原）	二〇〇	一九七	三	九八、五〇	二
計	五七四三	五四三九	三〇四	九四、七二	

農協だより

四月一日　常務役員互選の結果左の通り決定した。
組合長（農協、小野弘、森林、共済）
専務理事（農協、森文夫、共済）高森
〃（森林組合）奈須兼吉
〃（坪谷支所長）作田透

四月四日　役員会に於て左の決議をした
㈠再建整備法に依る増資は四月十日を最終目標として各地域に於て努力する
㈡村興定期の払出しは事情やむを得ざる者に限り、出来得れば更に一ケ年の定期に切替えてもらうよう組合員の諒解を求める
㈢当面の窓口資金として役員会の責任に於て六〇万円の資金手当をなす

四月十一日　役員会決定事項は左の如し
㈠増資未達成組合分については四月十三日迄に完遂すること
㈡増資のための約束手形に限り、利率を普通貸付の半分位とする、即ち日歩二戔乃至二戔五厘程度とするが、二戔にするか二戔五厘にするかについては次回役員会に於て決定する
㈢役員会に左の専門委員会を設ける
1、総務部委員会
黒木与作、一山富栄
中谷芳雄、奈須寛
2、経済部委員会
新名健、奈須仁吉、小田俊一、甲斐菊太郎
3、森林部委員会
直野岩喜、三浦儀三郎、橋口和吉
4、共済部委員会
寺原勝美、中元佐太郎、橋口和吉

四月二十六日　再建整備法に依る昭和二十九年度増資四半期分奨励金交附申請終了

総会について　増資完了遅延のため、決算の準備も後れ目下夜業をして準備を進めていますが、唯今のところ総会は廿一日頃になる予定です。

交通安全運動に協力を

日向警察署長

五月十一日から二十日までの十日間、全国春季交通安全運動が行われわております。

この運動は毎年多くの尊い生命が奪われ多くの不具者を出している悲惨な交通事故から、国民一人一人の生命や身体を護ろうとする大切な運動であります。

昭和二十八年度中に全国で発生した交通事故は八〇、〇一九件でこの事故で五、五四四人が死亡し五九、二八〇人が怪我をし十五億八千万円に上る巨額の財産を失つたのであります。

当日向警察署管内の交通事故は昨年度発生件数五九、死亡者二三名、怪我四一名で県下で最高の交通事故の多い警察署になつています。勿論面積が広く路線が長い上に断崖絶壁で曲角の多い危険な道路を電源開発や奥地開発の関係で市街地のように自動車が走つており地勢的に事故が起りやすい状況にあることもその原因ではありますが静かに最近の事故の原因を考えてみますとこのような一般的な原因によつて起つた原因は稀れで例えば本村羽坂で運転者が酒に酔つて結婚帰りの客をトラックに乗せて帰る途中転落して重軽傷者五名を出した事故をはじめ南郷村小又吐道路で中学生四名が自転車で帰途、トラックと交叉する際両側に分れて進行したため右側進行中の中学生を轢殺した事故、日向市江良の見透のきかぬ道路で進行中のトヨペットに幼児が飛出してはねられた事故等運転者や歩行者が交通法規を守らなかつたために起きた事故が大部分であります。

数年前に全国の標語募集で入選した「あなたが交通法規を守れば交通法規があなたを守る」この標語が次々に起つている事故に対して何かしら警鐘を鳴し続けているような気がいたします。

本年こそこの運動を契機としてお互に交通道徳を守り県下一多い交通事故の汚名のためには次の事項を厳守を返上したいものです。そしていたゞきたいのです。

厳守すべき事項

一、道路を歩く時は右側を一列になつて歩く
二、自転車に乗る時は左側を一列になつて通る
三、道路を横切るときは左右をよく見て交通の安全をたしかめていそいで真直ぐに横切る
四、トラック、自動三輪車等のように物を運搬する目的で作られた自動車には便乗しない
五、進行中の自動車に飛乗つたり、飛び降りたりしない
六、狭い道路で自動車と交叉する時は必ず止つてさける
七、自動車や荷車の直前直後は車が止つていても横切らない
八、自転車の二人乗りしない
九、道路で幼い子供を遊ばせない
一〇、道路に物を置き放しにしない
一一、自動車を運転している人に酒をすゝめたり飲せたりしない

米作の増收は

まづ健苗の育成から!!

昨年の水稲作は四回にも亘つて猛烈な台風に襲われて甚だしい被害を蒙り米作農家であつても飯米に事欠く惨めな年でありました。

水稲は苗半作といわれる程苗の良否が収穫に大きく影響しますから丈夫な良い苗を育てゝ病害虫にも台風や水害にも強く大きな穂を出す底力のある苗を作つて昨年の減収を取もどすように努めませう。

良い苗の條件

(1)病害虫のないこと
(2)素質が丈夫であること
(3)植えいたみが少く活着の早いこと
(4)苗の大きさ質ともによく揃つていること

今丁度苗代の準備時期でありますから、このような苗を作るように手ぬかりなく準備しませう。

選種と種子消毒

苗は本葉三枚目が出る頃までは種子の中の養分で育ちますから実入りの悪い種子（ヤセ籾）では初めから丈夫な生育は望まれません。良い苗を作るにはどうしても選種を厳重に行うことが大切であります。

選種

塩水選

粳の場合
水一斗に塩三升五合位
比重（一、一〇三）

糯の場合
水一斗に塩二升五合位
比重（一、〇八一、一〇）

の液に種籾を浸け沈んだ重い籾だけ種子に使います。

種子消毒

(イ)薬剤による消毒

種籾を「ウスプルン」一〇〇〇倍液（水一斗にウスプルン五匁）に六時間以上浸して消毒します。

(ロ)冷水温湯による消毒

線虫心枯病の心配のある種子籾は必ず冷水温湯法を行はなければなりません。

(イ)種子籾をあらかじめ二〇—二四時間位水に浸しておく。

(ロ)種子籾五升—一斗を「ザル」に入れて水をきる。

(ハ)風呂桶に湯を沸かし「よくかきまぜ」正確に摂氏五二度に保ち「ザル」のまゝ種子籾を浸し上下に動かしながら湯の温度が五一度から下らないように火加減をして正確に七分間浸し直ちに引き上げ冷水をかけて冷す。

(ニ)消毒を終つた種子籾は莚に拡げて軽く陰干にした後日干して乾かして貯蔵するか又はそのまゝ水に浸け直して種まきをする。

薄まきの勵行

厚まきの苗はいわゆる線香苗と云われ一株に沢山植えても生育も「分ケツ」も悪く大きい穂は出ませんが薄まきの苗は太くて丈夫で養分の吸収力も「分ケツ」力も強く植いたみが少く活着が早いので病気や災害に強い株張りもよく大きな穂を沢山出すことができます又播き方にむらがあると苗が不揃になるばかりでなく本田の発育も不揃になり「分ケツ」出穂成熟等も乱れ良い作柄は望めませんのでむらのないように坪当り（まき床四尺×九尺）に二合一寸四方に二粒乃至三粒位まくことがよろしい。

揚床の勵行

丈夫な苗ができるにはまいた種子が揃つて発芽し揃つて生長することが大切でありますそれには水分や養分の外にゼヒ空気の供給が必要となりますので苗代は平床を揚げ床に改めなければなりません。平床にすると床面を十分ならしたつもりでも高低が多く水のかけ引きも不便で深水になり過ぎた部分や乾き過ぎた部分ができたり発芽初期にゼヒ必要な「芽干」の場合も水溜りができたり乾き過ぎの処ができたりして浮苗や転び苗ができ易く生育も不揃になり丈夫な苗を作ることが困難になりますが揚床にするとこれらの平床の欠点が完全になくなり確実に丈夫な苗ができます。

施肥の合理化

鋤起しのとき肥料を施しよく土と混合すること

施肥の例（畝当り）

1、堆肥　一〇貫
硫安　五〇〇匁
過石　七五〇匁
硫酸加里　三〇〇匁
2、石灰窒素　六〇〇匁
熔成燐肥　七〇〇匁
塩化加里　三〇〇匁
堆肥　一〇貫

こんなふうに苗代の準備をして丈夫な苗を作りましよう。

肥料を合理的に使ひませう

春夏作の肥料準備の時期が参りました。作物増収の一半は肥料にあると共に農業支出の大きな負担になつておりますから肥料を合理的に使つて生産の増強を図らなければなりません。肥料には窒素、燐酸、加里と石灰分の四つの大切な要素のあることは皆さん御承知の通りでありますが実際は肥料と云えば硫酸アンモニヤ、と過燐酸石灰を連想する程で大切な肥料成分の組合せを考えておられる方は少く多くの人はすぐ効目の見える窒素に偏つて使つていられるように見受けられます。又長い間の肥料の使方の無理から土壌は酸性になつて荒れて地力も消耗されておりますので先ず地力を恢復し土の性質をよくするために充分の堆肥を施し又石灰を撒布して酸性を中和すると共に土の中に酸性の残る（硫酸根）肥料をなるべく避けるようにしなければなりません。

一番まとまつて使ふ水稲肥料も今が準備期でありますが配合肥料を使ふ場合と単肥を購入して自分で配合して施す場合とありますが配合肥料の場合は県販連で配合している水稲配合肥料を使えば問題はありませんが肥料代がかさみますので単肥を購入して自分で配合して使ふようにしたいものであります。自分で配合する場合の配合割合は次のようにすることよろしいと思います。

一、苗代用（一畝当り）

【例一】
肥料名　使用の割合
石灰窒素　六〇〇匁
熔成燐肥　七〇〇匁
硫酸加里（又は塩化加里）　三〇〇匁
堆肥　一貫

【例二】
硫酸アンモニヤ　五〇〇匁
過燐酸石灰　七五〇匁
硫酸加里（又は塩化加里）　三〇〇匁
堆肥　一貫

二、本田用（一反当り）

【例一】
肥料名　使用割合
石灰窒素　六貫
熔成燐肥　六貫
硫酸加里（又は塩化加里）　二貫
堆肥　三〇〇貫

【例二】
硫酸アンモニヤ　五貫
熔成燐肥　六貫
硫酸加里（又は塩化加里）　二貫
堆肥　三〇〇貫

【例三】
石灰窒素　六貫
硫酸加里（又は塩化加里）　二貫
骨粉　五貫
堆肥　三〇〇貫

【例四】
硫酸アンモニヤ　五貫
硫酸加里（又は塩化加里）　二貫
過燐酸石灰　六貫
堆肥　三〇〇貫

三、甘藷用

【例一】
過燐酸石灰　五貫
硫酸加里（又は塩化加里）　二貫
堆肥　二〇〇貫

以上のようにいろ〳〵の使用割合を示しましたのでこれを基準にして自分の所で必要な肥料を早目に準備して合理的に使用するようにして下さい尚本村の土壌性質から見て出来る限り硫安や過石を少くして熔成燐肥や石灰窒素のような硫酸根の残らない肥料を多く使ふようにしたいものです前表に示した量は元肥であつて他に追肥として反当二貫乃至二貫五百匁の硫酸アンモニヤを準備することがよろしい。

配蚕後の蚕兒の取扱ひについて

愈々稚蚕共同飼育の時期は終つたが扨中蚕期に於いてはそれ〴〵養蚕者の手元で育蚕することになる育蚕で最も大事な事は稚蚕取扱では申すまでもないが配蚕後に於ける（三齢）取扱に一段の注意が望ましい、共同飼育中は桑、温湿度、環境等基本的な取扱ひがしてあるに反し配蚕後の取り扱ひが一般的に粗雑な取り扱になりやすい特に温湿度の調節である蚕児の食慾は出て居るのに温度が底い為め充分食い込みが出来ず不揃となり蚕病を出す事も多いので特に此の点の取扱いに注意しなければならない。要は温度に依り給桑量に対する蚕の食下量が定まるもので充分給桑したつもりでも低温の為め残桑を多く生じ冷湿になり膿蚕を多発する事があるし桑葉を最高度に利用出来ない点に於いても不経済である上簇前に桑が不足する事も此の点にあると思ふ適温、適湿のもとに適量の桑を与へ蚕作の安定に努むべきである。温度は三齢四齢は七五、六度、五齢は七四、五度を適温とし掃立後二五、六日で上簇する様努めたい。本村に於いては寺迫地帯は本月二一日頃、山陰地帯は二三日頃上簇せしむる様努力してほしい。壮蚕期になれば相当忙くなるが肥料のきいた栄養価の高い良桑を充分給与し同時に蚕室の換気に注意し戸障子を開放し環境を良くする事が大切である。五齢期の取扱い如何が繭質の良否を決定する事になるので注意を要する。

五齢期の日数を長くすることは繭一貫当り用桑を乱用する外其の割糸目がなく繭価に大きく影響を及すので良繭多収の面から考うべき事である。次に桑の採方であるが摘葉、刈葉何れも一畦ごしに採る事を理想とするこの事が通風及日光の透射を良くし葉肉の厚い栄養価の高い桑を得られるので桑の収穫を増す事にもなる従つて良い繭を多収する事が出来るので必ず隔畦採取法を行ふ事にしたい。尚四齢迄は伸の止まつた蝶葉を摘み少しでも伸びる新梢は残し一葉でも五齢期に使用する事が桑の多収の面から大事な事である。

尚次期に供へ刈葉後の発芽を足進せしむる為め五齢刈葉と仝時に株直をする事を忘れてはならない。反当収繭量を増すことが我々養蚕者の使命である。

「蚕繭桑人」以下次号

東郷村の俚謡

手毬歌

向うじやらんの梅の花
朝はつぼんで昼開く
晩はしほれて門に立つ
門に立つのは千松か万松か
まあだ七ツにならぬ先
お馬の上からおつぱいて
ひしやくの袖で矢をうけて
姉から貰うたちしや刀
父から貰うた笙の笛
姉御の部屋においたらば
まゝははさんから叱られて
大腹立やら小腹立
それまで腹が立つなれば
墨と硯を引よせて
思い思いをみな書いて
紫川に流して見れば
浮いては沈み浮いては沈み

東郷村の民話

泣く坩

山陰神社に百済の禎嘉王の奉納品と伝えられる坩がある。村人は「泣く坩」と呼んでいる。この「泣く坩」には次のような物語りが伝つている。

今から一千二百年ばかり前、孝謙天皇の天平勝宝八年に、百済の国王禎嘉王は賊徒に追われて王子の福智王、華智王と共に多くの重臣等をつれて安芸の宮島に難をのがれて来たが、追手の来る噂におびえて一行は再び船に乗つて出帆した。

ところが途中時化にあい漂流をつゞけ命からがら禎嘉王の船は日向の金ゲ浜に、福智王の船は高鍋の蚊口浦にそれぞれ漂着した。

禎嘉王は生き残つた重臣たちをつれて塩見、山陰、坪谷、川崎、平田を経て神門にたどりつきこに落付かれたのであるが、山陰通過のとき山陰神社に立ちよられこの坩に幼い王子を入れて神に托された。

百済の賊徒は国王達が、日向の国にひそんでいることを知り禎嘉王の後を追つて日向に攻入つたのである。

そこで禎嘉王は越表中水流の伊佐賀峠に陣をはつて賊徒を迎え撃つたが三年前神門への途次川崎の「はがみ坂」でいくさの神と言われる重臣を失つたためか戦いは利なく第二王子華智王は戦死をとげられ重臣をはじめ大半の兵を失つてしまつた。

王はやむなく小股吐のほとりまで退却して野に火を放つてふせがれた。敵はむかい風に火を受けこの火勢になやまされて退却したが、王も流れ矢にあたつて傷づき王の軍も苦戦に陥つてしまつた。この時福智王が本国よりつれて来た軍兵と渡川、石河内、中之股、雉野などで集めた兵を率いて父王を援けに来た。禎嘉王は王子の福智王の援軍を得て、涙を流してよろこび味方の士気もまた大いにあがり、敵軍を追い払つたが再び福智王の軍勢も賊徒に囲まれてしまつて、糧食のみちがたゝれて苦戦に陥つた。この時けらいの者が山に入つて鹿を沢山猟して来て、これにより空腹をみたして元気をとりかえしついに賊徒を追ひ払うことが出来た。

その後年を経て王様の一族が再び山陰を経て帰国された。その時このつぼの中の王子はまだ生きていたが、どうしたわけか一緒につれて帰られなかつた。

毎年行われる比木神社のお祭りに神官が神門にお出の時は立寄られて神楽を奏せられるが帰途は人知れずお通りになるのはこのつぼの中の王子が「帰りたい、帰りたい」と言つて泣くからであると言い伝えられている。

（なお伊佐賀峠で戦死された華智王は今伊佐賀神社に祀られている）

☆四月三十日の地方選挙の結果それぞれの人がそれぞれの責任の地位について新しく村政の発足をみたことはうれしい。希いたいことは責任の地位についたそれぞれの人は常に村民の幸福を念頭において忠実に使命の遂行に邁進していたゞきたい。村民もまた常に温い心で協力と助言をおしまぬようにして明朗で清新な郷土の建設にともどもにつくしていたゞきたい。

☆純白な布も赤い目鏡でみれば赤色に見え青い目鏡でみはば青色にみえる。吾々は常に無色透明の目鏡で物を見清澄な心眼に物を写して正鵠を失わぬようにつとめよう。

☆皐月の空に鯉幟が威勢よく泳いでいる。若葉青葉が痛い程目にしみる。燕は薫風を切つてとんでいる。新羅万象生気に満ち満ちた五月、吾等も雄々しく建設譜を奏でよう。

鳥立つや
風そよそよと
麦の波